



客観的臨床能力試験（OSCE）が行われました

7月14日（木）理学療法士科2年生を対象に客観的臨床能力試験（以下；OSCE）が行われました。OSCEとは、医療従事者が患者に対して検査結果などの説明を行う時の技法（コミュニケーション能力・判断力・態度）を模擬患者に対して実施し、客観的な評価を行うものです。

従来の試験では、知識や理解力を問う認知領域の評価が中心となりがちでしたが、このOSCEを実施することで、理学療法士としての態度や技術がきちんと身につけている事を確認しながら学習を進めていくことができます。

2年生にとっては、9月の臨床実習（評価実習）に向けて、重要な位置づけとなる試験でもあります。緊張感のある空気の中でも、前期の演習で学んだ成果を存分に発揮することが出来ていました。

